交流及び共同学習実践研究

選択　　2単位

荒巻　恵子・及川　利紀

1. 授業の概要（ねらい）

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・地域との直接的・間接的な交流及び共同学習、また、近年進められてきている副籍や交流籍などを設けた個別交流など多様な交流及び共同学習の内容や方法、評価等について、資料や文献・フィールドワークなどを通し、具体的な検討を行うとともに、望ましい社会性の育成を図ることや、障害児の理解推進などの実践的な力量を高める。特に実地調査のレポート・発表・協議を中心として進める。

A類学生は、交流及び共同学習の実際場面を見学・観察を通して、意義などを理解する。

B類学生は、所属校や他校の交流及び共同学習の実際場面を見学・観察を通して、一人一人の目標や活動内容をとらえ、意義や実施方法などを分析し・検討する。

2. 授業の到達目標

「交流及び共同学習」の意義を理解し、障害のある幼児・児童・生徒と、障害のない幼児・児童・生徒の双方に効果的な活動の内容、場について実践研究を進める。

＜A類学生＞

交流及び共同学習の意義と様々な交流の実施計画・事前指導・交流活動・事後指導などを知り、互いの人格の尊重や望ましい社会性などを育てることや、障害者に対する理解を深める方法を学ぶ。

＜B類学生＞

交流及び共同学習の意義と様々な交流の実施計画・事前指導・交流活動・事後指導などの実践報告を通して、互いの人格の尊重や望ましい社会性などを育てることや、障害者に対する理解を深める方法などの指導助言ができるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

演習やグループワーク（10%）・発表（20%）、レポート（70%）等で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

文部科学省　交流及び共同学習ガイド（2019年3月改訂）

心のバリアフリー学修推進会議　学校における交流及び共同学習の推進について―心のバリアフリーの実現に向けて―（平成30年2月2日）

大南英明・吉田昌義編　交流教育　太楊社

5. 準備学修の内容

1　在職校・実習校及び参観した他校等の「交流及び共同学習」の実践を報告できるように準備します。

2　実地研究を中心に行う授業のため、学校や施設訪問の日が設定されます。第1回オリエンテーションで内容を確認します。

6. その他履修上の注意事項

交流及び共同学習に関わるテレビ番組、新聞・教育雑誌記事を取り上げ、授業の中で報告する。

学校や施設先を訪問する実地調査と、調査後に報告発表・協議で、授業が構成されています。

オンラインについては、第1回の授業で説明します。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション（講義）
①授業計画
②交流及び共同学習に関する資料文献の収集方法、分析方法の概要を学ぶ。

【第2回】　オンライン授業（LMS）
交流及び共同学習の概念（学術研究に関するビデオの視聴）
交流及び共同学習の概念を理解し、インテグレーションやインクルージョンの考え方を学ぶ。

【第3回】　交流及び共同学習の意義（講義・協議）
・オンライン授業を振り返り、交流及び共同学習を通して、双方の児童生徒に対する指導の意義を学ぶ。
・グループ別に資料を分析し、意義・活動内容や成果をまとめ発表し、課題を明らかにする。

【第4回】　交流及び共同学習の内容・活動の場（学外での実地調査）
・交流及び共同学習の様々な実施形態、活動内容の種類・方法などに関する事例を実地調査する。
・A類学生は、前回資料を更に分析し、活動の展開から交流及び共同学習の方法を理解する。
・B類学生は、前回資料に所属校等の実施資料をさらに分析し、活動の展開から交流及び共同学習の方法を理解する。

【第5回】　特別支援学級と通常の学級や地域との交流及び共同学習（学校見学）
・小・中学校の特別支援学級を訪問し、通常の学級や地域との交流及び共同学習の実態や課題を学ぶ。
・A類学生は、特別支援学級の交流及び共同学習の実際と課題について明らかにする。
・B類学生は、特別支援学級の交流及び共同学習の実際と課題解決へ向けての方向を探る。

【第6回】　特別支援学級と通常の学級や地域との交流及び共同学習（学外での実地調査の振り返り）
・小・中学校の特別支援学級と通常の学級や地域との交流及び共同学習の実態や課題から、望ましい人格の形成や社会性の育成、交流及び共同学習の実施方法などを検討する。
・A類学生は、特別支援学級の交流及び共同学習の実際と課題解決に向けての観点や改善の方法を把握する。
・B類学生は、特別支援学級の交流及び共同学習の実際と課題解決へ向けて検討し、提言をする。

【第7回】　特別支援学校と小学校・中学校との交流及び共同学習（学校見学の振り返り）
特別支援学校と小学校・中学校の交流及び共同学習について、事前指導、実際的な活動、事後指導などを分析・把握し、望ましい方向を探る。

【第8回】　特別支援学校と小学校・中学校との交流及び共同学習（施設見学）
特別支援学校と小学校・中学校の交流及び共同学習の見学の結果をもとに、事前指導、実際的な活動、事後指導などを分析し、課題を明らかにするとともに、望ましい方向を探る。

【第9回】　特別支援学校と地域との交流及び共同学習（施設見学の振り返り）
・特別支援学校と地域の人々との交流及び共同学習について、事前指導、実際的な活動、事後指導などを把握し、望ましい方向を探る。
・A類学生は、交流及び共同学習の見学の結果をもとに、交流の課題を明確にする。
・B類学生は、交流及び共同学習の見学の結果をもとに、課題となった点についての解決方向を提言する。

【第10回】　交流及び共同学習の計画・事前指導（演習）
・望ましい交流及び共同学習の目標や内容を計画し、更に事前指導の具体的な内容を検討する。
・グループ別に、交流及び共同学習の1つを取り上げ、目標や内容を検討する。

【第11回】　交流及び共同学習の実際（学校現場での演習）
・望ましい交流及び共同学習の計画に基づく実際的な活動展開と事後指導の内容を具体的に検討する。
・グループ別に、交流及び共同学習の1つを取り上げ、目標や内容に沿った展開を検討する。

【第12回】　交流及び共同学習の評価（演習の振り返り）
・交流及び共同学習の評価の観点や方法を学ぶ。
・A類学生は、交流及び共同学習のねらいは活動内容から、評価の観点や方法を検討する。
・B類学生は、交流及び共同学習のねらいは活動内容、これまでの実施した経験を踏まえて、評価の観点や方法を具体的に検討する。
招聘講師による講義

【第13回】　障害児の理解推進①（学校での事例調査）
・交流及び共同学習を通して、障害のある児童生徒の理解について、具体的な内容を検討する。
・小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象としたグループ別に、障害児の理解のねらい・内容・方法等について検討する。
学校の事例調査を通して、交流及び共同学習に関する知見を広げる

【第14回】　障害児の理解推進②（学校での事例調査の振り返り）
小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象としたグループ別に、各教科等における障害児の理解のねらい・内容・方法等について具体的に検討する。

【第15回】　まとめ
交流及び共同学習の計画から評価、障害児の理解推進などについてまとめ、指導助言の観点や内容を理解する。
特に、B類学生は、指導助言する場合の方法や留意点などもつかむ。